

### 13 ロジスティックス活動

#### 01 物流コスト

##### 01 物流コスト

- 01 企業内外の物流コストの実態を把握していますか。  
Y 機能別に把握していますか。販売価格に占める物流コストの割合を説明してください。  
N 物流コストの金額を試算させ、売上総利益と比較させます。
- 02 物流コスト削減への取り組みが行われていますか。  
Y 物流システムの革新による削減まで検討されていますか。  
N 物流コストを利益と対比しその大きさを示し、コスト削減のための手法を提案します。

#### 02 物流サービス強化

##### 01 物流サービス強化

- 01 得意先への物流サービスの強化を図っていますか。  
Y 得意先からの反応を具体的に調べていますか。  
N 物流サービス強化を販売促進の手段と考え、その方法を提案します。
- 02 物流サービス品目は販売戦略の一環として設定されていますか。  
Y 品目の内容はどうなっていますか。それは販売戦略に合致していますか。  
N 物流サービスも販売促進のひとつの手段です。手を抜くことは販売減につながります。
- 03 物流サービス強化とコスト削減を両立させていますか。  
Y サービス強化とコスト削減の現状を具体的に説明してください。  
N サービス強化とコスト削減はどちらにも片寄らないようバランスを取るべきです。
- 04 物流サービス条件は明確であり、料金は合理的に設定されていますか。  
Y 条件を説明してください。それはマニュアルとして明示されていますか。  
N 物流費用が経費増、利益減の原因となっていないですか。
- 05 物流サービス条件は、チャネル別、顧客別に各々妥当な基準が設定されていますか。  
Y 基準は競合他社に較べてより妥当なものですか。  
N チャネル別、顧客別等のきめの細かい基準を提案します。

#### 03 物流管理への取り組み

##### 01 物流管理への取り組み

- 01 「生産管理と納入管理」、あるいは「商品管理とサービスシステム」が一体的に確保されていますか。  
Y 管理のルール、担当責任者、トラブルへの対応などについて説明してください。  
N 一体的な管理業務の流れの必要を説明し、システムを提案します。
- 02 物流面の省力化、自動化、情報化への取り組みが行われていますか。  
Y 取り組みの具体例とその効果を検証します。  
N これらの取り組みはコスト低減のためにも必要です。具体的な方法を提案します。
- 03 製品の取扱い、荷姿、包装、保管等は工夫されていますか。  
Y 工夫の具体例とその効果を、競合他社の例も参考にして検証します。  
N 工夫の具体例を示し、改善を提案します。

#### 04 保管

##### 01 倉庫管理

- 01 倉庫の適正な立地や効率的活用は行われていますか。  
Y 倉庫現場にムリ、ムダ、ムラはありませんか。在庫基地かそれとも配送基地か、機能は明確になっていますか。  
N 立地の不適正、非効率な使用があれば原因を分析し改善を図ります。

##### 02 在庫管理

- 01 販売活動と在庫管理の関連性を理解していますか。  
Y 在庫減らしのために、販売活動としてなにを行っていますか。  
N 在庫過剰、在庫不足のいずれもが販売活動の障害となります。
- 02 在庫管理を保管、流通加工、出荷、配送等の関連で捉え、改善対策を講じていますか。  
Y 在庫量、配送時間、物流コスト等から改善策の効果を検証します。  
N 在庫管理と上記の保管等は密接不可分な関係にあることを理解させます。
- 03 在庫管理に情報ネットワークは活用されていますか。  
Y 在庫管理は「需要に適合する供給を図るシステム」として機能していますか。  
N 在庫管理は単に在庫量を減らすための手段ではありません。供給を支える主要素のひとつです。
- 04 品切れ防止、過剰在庫防止、適正在庫・即時把握、予測先行供給の諸活動がなされていますか。  
Y それぞれの活動状況を、例を挙げて説明してください。  
N それぞれの活動についてなぜ必要かを説明し、重点実施事項を例示します。
- 05 定期的にデッドストックの有無や、補完状況についてチェックしていますか。

Y 現場任せではありませんか。時にはマネジメント自らのチェックが必要です。

N チェックの不足は、時として大きな損失発生の原因になります。

### 03 実地棚卸

01 実地棚卸や主要製品に対する循環棚卸等が適切な頻度で実施されていますか。

Y 品目ごとの棚卸頻度を説明してください。現実に実施されていますか。

N 財務会計との関連から品目による基本的な棚卸の方法を示し、定期の実地棚卸から手を付け始

02 実地棚卸にあたってはハンディターミナル等を用い、正確・迅速に行っていますか。

Y 棚卸計画時間と必要時間、在庫記録と現物在庫の差異はどの程度ありますか。

N 迅速正確な棚卸方法を提案します。平素からの整理・整頓は迅速な棚卸のキーです。

03 棚卸資産の把握方法は、明確に定められていますか。

Y 物流量、在庫金額の把握レベルが、どう定められているかを確認します。

N 対象による物流量、在庫金額の把握レベルの変化とその把握方法を示します。

### 04 管理指標

01 在庫管理指標は利用目的にマッチするものを選択していますか。

Y 利用している指標とその選択理由を直近のデータから説明してください。

N 回転率、回転期間、保管期間等の目的別指標についてその使い方を示します。

02 在庫管理でリサイクルに積極的に取り組んでいますか。

Y 廃棄物・包装資材等の削減状況を最近のデータで説明してください。

N リサイクルの意義とそれがコストダウンにつながることを理解させます。

### 05 配送

#### 01 効率

01 配送の費用対効果の検討はできていますか。

Y 自社配送または委託配送を採用した理由とその成果を説明してください。ピーク対策は考えていますか。

N 現在採用していない配送方式を利用するメリットはありませんか。

02 輸送・配送経路の短縮、直送など最適化が図られていますか。

Y 工場や仕入先から納入先にいたる配送の具体例を取り上げ、その最適性を検証します。

N 現行配送経路等以外に最適な方法はないか検討させます。

03 一貫パレチゼーションを推進していますか。

Y 配送フローチャートを作らせ、現状を確認します。

N パレット化、コンテナ化などの一貫パレチゼーションを進めていない理由はなぜですか。

04 運行効率を把握し、これらの向上に努めていますか。

Y さらに運行効率をよくする方法はありませんか。

N 運行の現状をわかりやすく示し、効率向上の手法を提案します。

05 配車計画のコンピュータ化、マニュアル化などを通じて、配送の軽減に努めていますか。

Y 配送量・配送時間等の推移から効率を検証します。

N 配送コスト軽減のためのコンピュータ利用、マニュアル作成を、事例をもとに提案します。

#### 02 共同配送

01 共同配送など物流合理化への取り組みはありますか。

Y 共同配送による不具合はありませんか。現場の声を聞いていますか。

N 共同配送のメリットを示し、導入の可能性はないか検討させます。